

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	中沢小学校を核とした地域の場合創生事業
事業主体 (連絡先)	中沢学校記念事業実行委員会 中沢小学校内 (83-3707)
事業区分	(3)教育、文化の振興に関する事業
事業タイプ	ハード
総事業費	3,178,480 円 (うち支援金 : 2,368,000 円)

事業内容

【炭焼窯改修事業】

中沢地区の特色である炭焼文化を継承するため、中沢区住民により炭焼窯の改修を行う。

- ・炭焼窯改修 11月～12月
参加者 168人 (うち、小学生 111人)

【「夢を語ろう」庭園環境整備事業】

小学校の庭を地域住民の憩いの場となるよう魅力を高めるため、石組み、インターロッキング整備を行う。

- ・植栽・手入れ・石組み 8～11月
参加者 延べ 216人 (うち、小学生 110人)



【庭園環境整備の様子】

【目標・ねらい】

- ①炭焼の活動は、上伊那の歴史や文化の継承にも資するものである。
- ②地域住民が記念事業に参画することにより、地域愛を高める。

事業効果

- ① 中沢地区伝統の炭焼活動を充実することができた。
- ② 庭園環境整備については、インターロッキング、山茶花の植栽など小学生・地域住民が一体となって環境整備を行うことができた。
 - ・小学校応援隊も小学生との活動が増え、励みとなった。
 - ・中沢小学校応援隊の増加
R3 120名 (コロナにより1回中止)
R2 143名
 - ・小学生ボランティア木炭売却による校外活動の運営資金の増加
R3 340,000円 (前年比 207%)
R2 164,000円

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・小学生ボランティアによる活動が活発化し、木炭売却収入が増加。
- ・地域住民と小学生の交流の場が増加した。

今後の取り組み

地域住民自らが中沢学校 150 周年記念事業に参画することにより、地域への愛着を高めるとともに、次代を担う児童が炭焼体験をすることで地域の歴史や文化への意識向上につながる活動を継続していきたい。

また、庭園環境整備については、小学校の樹齢 150 年ヒノキ材を利用して、今回整備されたインターロッキングの場所に備え付けのテーブルや長椅子を設置する。

今後の管理についても、地域住民と小学校の負担による仕組みを構築し、さらに連携を深めることにより、地域の拠り所である小学校の環境整備に地域住民が一体となって取り組む。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある